



金沢市持続可能な観光振興推進計画 2021

Kanazawa City Sustainable Tourism Promotion Plan 2021

概要版



金沢市持続可能な観光振興推進計画2021の策定について

計画策定の目的と計画期間

金沢市では、『金沢市観光戦略プラン2016』に基づき、北陸新幹線金沢開業（平成27年3月）以来、増加する訪日外国人旅行者の受入環境の整備や2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた海外誘客の推進等、様々な観光施策を展開してきました。その結果、国内外から多くの旅行者が訪れ、企業活動の活発化等によりまちながか活気づく一方で、旅行者の集中による混雑や交通渋滞の発生等、市民生活への影響も生じていることから、市民生活と調和した観光まちづくりが求められています。

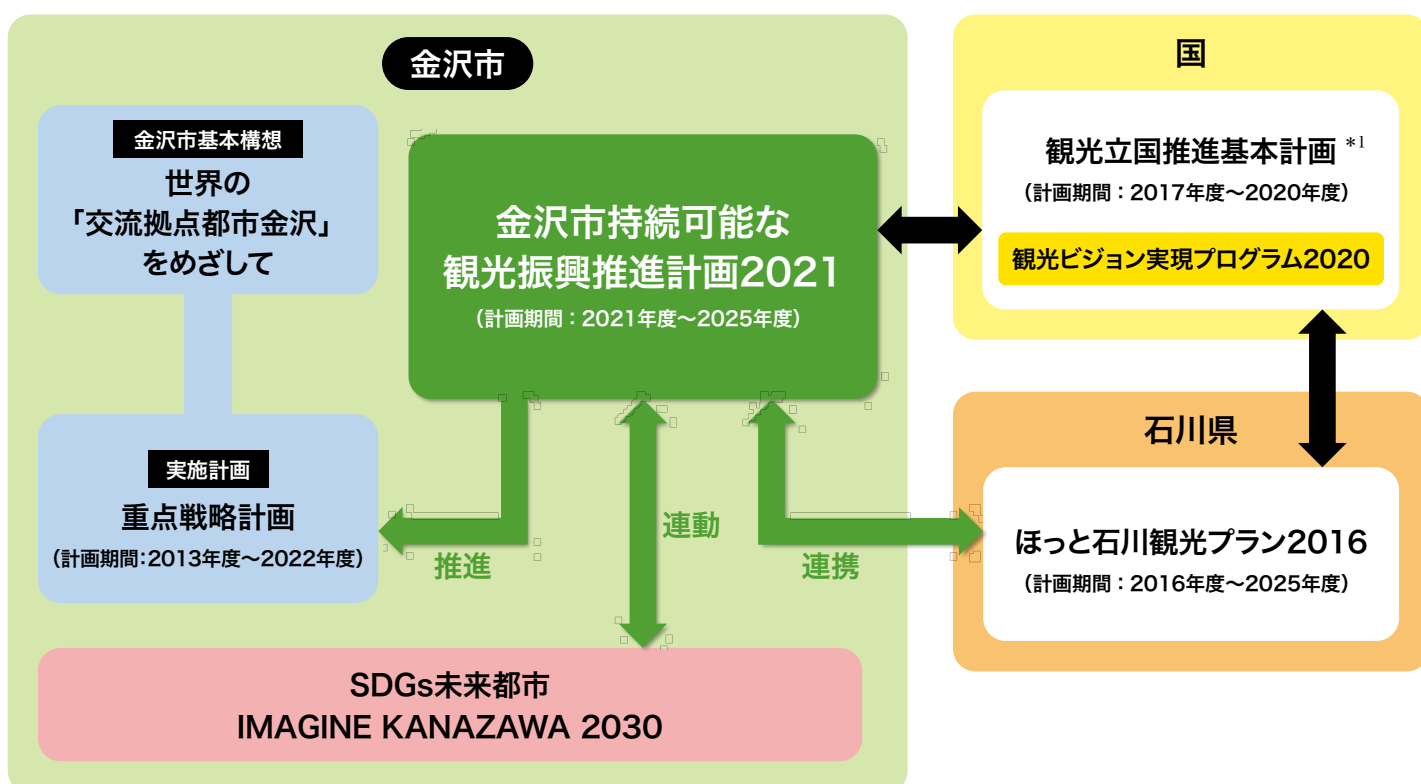
また、新型コロナウイルス感染症の影響により世界的に観光のあり方が変化し、今後、北陸新幹線敦賀延伸も控えていることから、本市を取り巻く環境や情勢は変わり続けると見込まれ、これまで以上に戦略的な施策を展開していく必要があります。

このため、令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5年間に本市が取り組むべき観光戦略を策定し、市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進を目的とします。なお、進捗状況を踏まえながら毎年検証を行い、より効果的な施策の実践に努めます。

計画の位置付け

本計画は、国の「観光立国推進基本計画」*1や石川県の「ほっと石川観光プラン2016」との連携、整合性を図るとともに、金沢市の基本構想である『世界の「交流拠点都市金沢」をめざして』（平成25年（2013年）3月策定）を実現するため、実施すべき施策を実施計画としてとりまとめた上位計画「世界の交流拠点都市金沢 重点戦略計画」（平成25年度（2013年度）～令和4年度（2022年度）の10ヵ年計画）を推進するためのプランとして位置づけ、第2次金沢交通戦略やまちづくり関連の計画、市民や事業者の取組等との整合性を図ります。

また、市民生活と調和した持続可能な観光の実現にあたり、SDGsの考え方に基づいて取組を進めていく必要があります。そのため、本市におけるSDGs未来都市の動きと連動させながら、金沢の観光のあるべき姿を構築していきます。

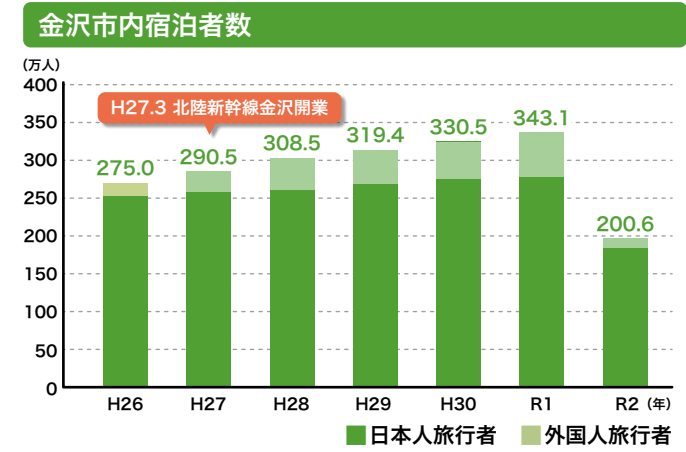
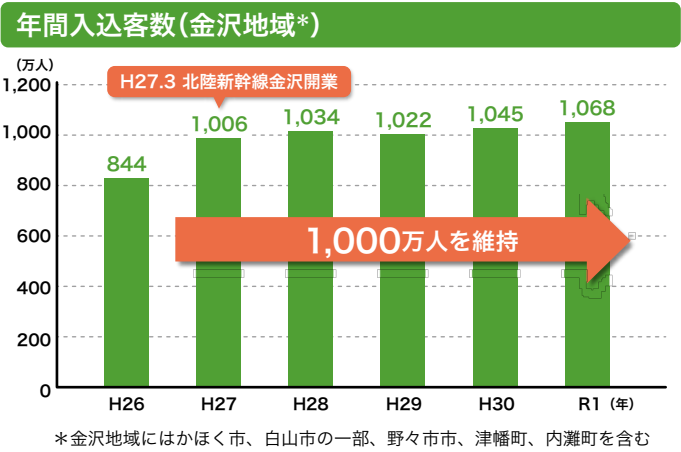


*1 令和3年3月時点で、観光立国推進基本計画は更新されていない。

金沢市の観光の現状

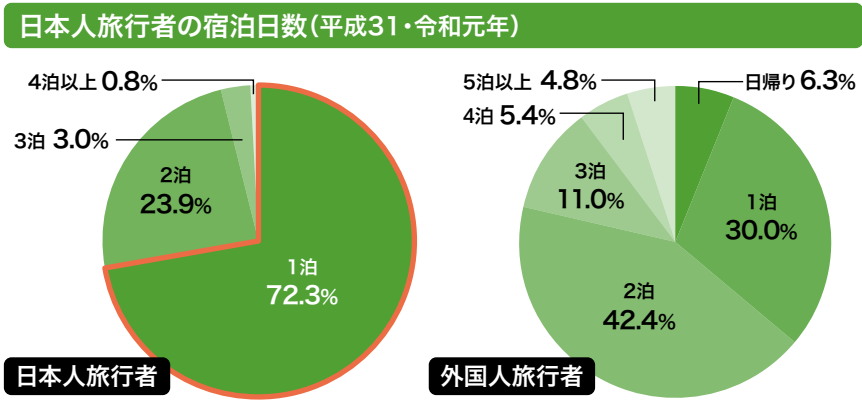
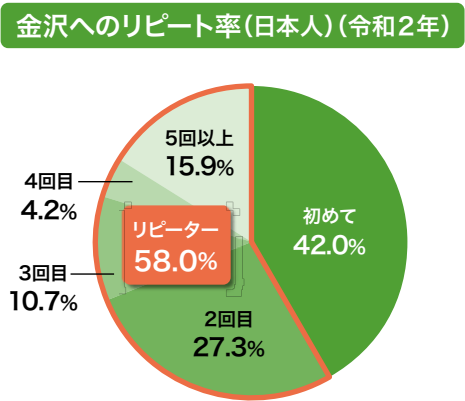
金沢地域の観光入込客数と金沢市内宿泊者数

北陸新幹線金沢開業年である平成27年以降、年間入込客数は1,000万人以上を維持しており、北陸新幹線金沢開業の効果が持続していると考えられます。また、金沢市内宿泊者数も年々増加傾向にあり、令和元年は343.1万人となりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年は200.6万人に落ち込んでいます。



日本人旅行者の金沢へのリピート率と宿泊日数

日本人旅行者の金沢へのリピート率は58.0%とリピーターが半数以上を占めています。また、宿泊日数を見ると、日本人旅行者では、1泊が7割以上、外国人旅行者は2泊が約4割、1泊が3割を占めており、今後は長く滞在していただくことが課題です。



新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の拡大は、金沢市内の観光事業者等に大きな経済的ダメージをもたらしただけでなく、工芸、芸能、食、アート等金沢の魅力である文化的活動も縮小を余儀なくされています。

少人数旅行の拡大や感染症対策の徹底等旅行の形態が変わっていく一方で、人々の「ほんものに触れたい」「そこにしかないのを見たい」という旅行意欲や旅行先への憧れ等旅行に求める本質は変わらないと考えられます。新しい旅行形態に対応しつつ、金沢の魅力を磨き続けて発信していくことで、「何度も訪れたい憧れのまち」として旅行者の認知度や来訪意欲を高めていきます。

新型コロナウイルス感染症によりもたらされた状況の分析や課題を整理し、自然災害や感染症の発生等への対応について検討していきます。

フェーズ	旅行者の受入	マーケティング
日本国内収束 フェーズ 1	北陸エリアからの旅行者 全国からの旅行者	デジタルを活用したオンラインでのマーケティング推進
世界的な収束 フェーズ 2	収束した一部の国・地域からの旅行者 すべての国・地域からの旅行者	イベントへの参加等による対面での誘客推進

金沢の観光がめざす姿と戦略テーマ

金沢市持続可能な観光振興推進計画2021の戦略テーマ

市民と旅行者が共感を深め、 「ほんもの」を未来へと紡いでいくまち

金沢は藩政期からの伝統文化や生活様式が今に受け継がれ、市民の心の拠りどころとして、また世界に誇れる日本文化として光を放っています。北陸新幹線開業後の金沢には多くの旅行者が訪れていますが、市民生活を尊重することで、こうした光が失われることなくさらに輝きを増し、未来へ持続していくようなアプローチが、これからの観光振興の要となります。

鼓門や金沢21世紀美術館に代表される新たなまちのシンボルが、歴史的な文脈を踏まえて誕生したように、金沢はまちの重層性を大切にしながら「由緒あるほんもの (Authenticity & Quintessence)」を未来へと紡いでいます。本計画では、こうした考え方をベースに、SDGsの理念に沿って経済・社会・環境の調和を図りつつ、市民と旅行者が金沢の価値を共有し、将来にわたって共に高めていける観光のあり方を推進します。

金沢の観光がめざす姿

「ほんもの」を継承し、 世界をひきつけるまち

旅行者のほんものへの感度の向上や金沢の文化や市民生活に敬意を払っていただくための機運の醸成に向けた施策を積極的に展開し、旅行者の満足度と市民の幸福度を共に高める「質の観光」をさらに進めます。

訪れるたび感動があり、 長くいるほど奥行きが感じられるまち

金沢の多様で豊かな自然は、市民生活を彩り、繊細な美意識を醸成してきました。恵まれた自然環境を活かし、また歴史と風土に根差しながら、訪れるたびに新しい発見がある金沢、長く滞在するほど知的好奇心が満たされる金沢をめざします。

住む人と訪れる人が 価値を共創するまち

金沢の自然・文化や市民生活を尊重し、旅先での意識や行動に責任を持つ旅行者と、足元にある地域資源を見直し、旅行者に親近感を持つ市民が新たな関係性を築き、金沢が大切にしてきた文化や暮らしの価値を、市民と旅行者がともに高めていくことをめざします。

新たな観光マネジメントを リードするまち

関係自治体と連携を強化して新たな広域観光・周遊観光を創造するとともに、デジタル技術の活用により、働き方、生き方の変容にも対応し、ヒューマンスケールな新たな観光マネジメントの形を金沢から発信していきます。

金沢の観光が求められる動き

- 1 市民生活と調和した観光まちづくり
- 2 新しい観光スタイルへの対応
- 3 観光消費額の向上
- 4 海外誘客の推進
- 5 デジタル技術の活用



各主体の役割

本計画を推進するためには、市民、観光事業者、金沢DMO、行政が協働で取組を進めていく必要があります。
また、金沢DMOと行政が主体となり、本計画の進捗管理や効果検証を行っていきます。

市民

- 金沢のまちが藩政期から培ってきた個性を守り磨き上げるとともに、楽しみながら他者へ伝える。
- 観光まちづくりに参画し、市民の視点から行政や金沢DMOの取組や観光事業者の体験コンテンツを評価し、魅力を発信する。

観光事業者

- 質の高い観光コンテンツを造成し、市民や旅行者に提供する。
- 地域に根ざした観光コンテンツの造成による地場産業の活性化や市民の観光まちづくりへの参画を促す。
- 旅行者と交流する時間の質の向上等により、金沢滞在の満足度向上に努める。

金沢DMO

- 市民と旅行者の満足度が高まる観光まちづくりのマネジメントを行う。
- 観光事業者やガイド向けに研修を実施し、金沢の個性・魅力を発信できる人材の育成を推進する。
- データに基づいたマーケティングや顧客管理、ターゲットに向けた戦略的なプロモーションを推進する。

行政（金沢市）

- 市民も旅行者も快適に過ごせるまちづくりを行う。
- MICE等の誘致、開催を支援する。
- 広域連携体制の強化や金沢DMOと協働でプロモーションを推進し、誘客推進に努める。
- 観光施策の効果検証を行い、市民や観光事業者等に広く発信し共有する。

数値目標

金沢市持続可能な観光振興推進計画2021では、5年後の金沢観光のあるべき姿を示す数値目標を設定し、目標達成に向け取組を進めていきます。なお、新型コロナウイルス感染症の収束状況や旅行者の戻り方等をモニタリングすることで、適正な目標設定となるよう毎年見直しを行います。

基本的な考え方

- 市民生活と観光が調和したまちづくりを推進することで、市民と旅行者双方の満足度向上をめざします。
- 質の高い観光コンテンツの提供を通じて、リピーターや長期滞在者を増やし、金沢市内における宿泊者数と消費額の向上をめざします。
- 多くの人の憧れの旅行先となるよう、情報発信やプロモーションを通じて、金沢の認知度と来訪意向を高めます。
- 新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、令和元年の数値を基準に目標値（暫定）を設定します。

指 標	令和元年(2019年)	令和7年(2025年)
年間宿泊者数	343.1万人	377.7万人
年間外国人宿泊者数	61.3万人	82.1万人
観光入込客数(金沢地域)	1,068万人	1,101万人
金沢旅行の満足度(日本人)	92.8%	95%以上
金沢旅行の満足度(外国人)	97.4%	95%以上維持

各種施策の推進効果を測るために必要な下記項目については、令和3年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、データ収集方法やアンケート内容等の検討を行った上で調査をしていきます。

金沢の観光のあり方に関する市民満足度／1人あたりの旅行消費額／日本人の金沢へのリピート率
旅行先としての金沢の認知度／旅行先としての金沢への来訪意向

5つの基本戦略と主要施策

基本戦略1 市民と旅行者の相互理解促進

主要施策1-1 市民と旅行者による「憧れのまち金沢」の価値共有と魅力向上

推進事業 ● 伝統芸能の後継者育成や茶屋文化の継承支援 ● 金沢が誇る文化の魅力を発信するイベントの開催 等

主要施策1-2 市民の観光受容力を高めるための意識醸成

推進事業 ● 金沢の観光に関する市民意識調査の実施 ● 市民が楽しめるマイクロツーリズムの推進 等

主要施策1-3 旅行者に金沢を知っていただくための環境づくり

推進事業 ● 金沢で心地よく過ごすためのマナー啓発の推進 ● 宿泊施設での工芸品展示による工芸の魅力発信 等

基本戦略2 魅力あるコンテンツの磨き上げ

主要施策2-1 他の地域にないストーリーを活かしたコンテンツの造成・提供

推進事業 ● 歴史、伝統工芸、伝統芸能、食等の金沢の豊かな文化を生かしたコンテンツづくり ● SDGsツーリズムの推進 等

主要施策2-2 リピーター向けの特別なコンテンツの造成・提供

推進事業 ● 旅行者の興味・関心に応じたより奥深い金沢の魅力発信 ● 金沢の「ほんもの」の豊かさを感じることのできる上質な旅行商品の造成 等

主要施策2-3 金沢暮らしを楽しめる長期滞在型コンテンツの造成・提供

推進事業 ● 市民と宿泊者が交流する観光スタイルの構築 ● 夜の賑わい創出に向けたナイトタイムコンテンツづくりの推進 等

主要施策2-4 テーマ性を重視した広域観光の推進

推進事業 ● 北陸・飛騨・信州3つ星街道、北陸新幹線沿線都市、富山県西部地域の連携強化 ● 能登や加賀との連携による広域観光の推進 等

主要施策2-5 魅力あるコンテンツを提供できる事業者の育成

推進事業 ● コト商品の充実化に向けた事業者の育成や連携促進 ● 旅館やホテルと連携した魅力的なコンテンツの造成 等

基本戦略3 快適に観光できる環境の充実

主要施策3-1 市内の回遊性向上によるだれでもまちあるきを楽しめる環境づくり

推進事業 ● 多言語でのまちなか交通ガイドの作成 ● 観光デジタルマップの整備 等

主要施策3-2 市内の交通円滑化の推進

推進事業 ● 次世代交通サービス(金沢MaaS)の推進 ● 公共シェアサイクル「まちなり」の利用促進 等

主要施策3-3 だれもが快適に滞在できる環境の整備

推進事業 ● 金沢駅・金沢中央観光案内所の運営 ● 多言語による情報発信や受入環境の整備 等

主要施策3-4 金沢の培った歴史・文化的ストーリーを伝えられるガイドの育成

推進事業 ● 観光ボランティアガイドの育成・充実 ● 金沢の観光情報に精通した通訳ガイドの育成 等

主要施策3-5 金沢の規模に見合ったMICE・修学旅行の誘致

推進事業 ● 金沢ならではのMICEの誘致と開催 ● 文化やスポーツのイベント誘致と開催 等

主要施策3-6 安心・安全な観光の提供

推進事業 ● 宿泊施設に対する監視指導により市民と旅行者の安全安心確保 ● 多言語対応救急アプリの配備による外国人傷病者の安全確保 等

基本戦略4 観光マネジメント体制の強化

主要施策4-1 金沢DMOの組織強化

推進事業 ● 金沢DMOの観光マネジメント機能の強化 ● 専門人材の活用による組織強化 等

主要施策4-2 観光マネジメント専門人材の育成

推進事業 ● 専門人材の登用による金沢DMOの機能強化 ● 金沢市観光協会の組織力強化と人材育成 等

主要施策4-3 観光事業者の連携強化

推進事業 ● 金沢で活躍する観光事業者間の連携強化 ● コト商品の充実化に向けた事業者の育成や連携 等

基本戦略5 国内外からの誘客推進に向けた情報収集と発信

主要施策5-1 デジタルを活用した効果的なマーケティングの推進

推進事業 ● 国内外旅行者の観光動向調査の実施 ● 観光データの収集による調査・分析 等

主要施策5-2 金沢の文化を嗜好するターゲットに向けたプロモーションの推進

推進事業 ● 歴史、工芸、芸能、食等に親和性の高い欧米豪地域への誘客プロモーションの推進 ● 台湾や東南アジア地域等への誘客プロモーションの実施 等

主要施策5-3 誘客推進に必要な情報の整理と発信

推進事業 ● 富裕層誘客に向けた戦略ツールの作成 ● 金沢市観光公式サイト「金沢旅物語」の利便性向上 等

主要施策5-4 発信ツールの拡充整備

推進事業 ● 金沢市観光公式サイト「金沢旅物語」の発信力強化 ● 金沢クラフトの欧米富裕層向けの販路開拓 等

数値目標と基本戦略の関係

年間宿泊者数

- 2-2 リピーター向けの特別なコンテンツの造成・提供
- 2-3 金沢暮らしを楽しめる長期滞在型コンテンツの造成・提供
- 3-5 金沢の規模に見合ったMICE・修学旅行の誘致
- 5-2 金沢の文化を嗜好するターゲットに向けたプロモーションの推進

観光入込客数（金沢地域）

- 2-1 他の地域にないストーリーを活かしたコンテンツの造成・提供
- 3-5 金沢の規模に見合ったMICE・修学旅行の誘致
- 5-3 誘客推進に必要な情報の整理と発信

旅行者の金沢旅行の満足度

- 1-1 市民と旅行者による「憧れのまち金沢」の価値共有と魅力向上
- 1-3 旅行者に金沢を知っていただくための環境づくり
- 3-1 市内の回遊性向上によるだれでもまちあるきを楽しめる環境づくり
- 3-2 市内の交通円滑化の推進
- 3-3 だれもが快適に滞在できる環境の整備
- 3-6 安心・安全な観光の提供

金沢の観光のあり方に関する 市民満足度

- 1-1 市民と旅行者による「憧れのまち金沢」の価値共有と魅力向上
- 1-2 市民の観光受容力を高めるための意識醸成
- 3-1 市内の回遊性向上によるだれでもまちあるきを楽しめる環境づくり
- 3-3 だれもが快適に滞在できる環境の整備

1人あたりの旅行消費額

- 2-2 リピーター向けの特別なコンテンツの造成・提供
- 2-3 金沢暮らしを楽しめる長期滞在型コンテンツの造成・提供
- 2-4 テーマ性を重視した広域観光の推進

日本人の金沢へのリピート率

- 2-2 リピーター向けの特別なコンテンツの造成・提供
- 3-4 金沢の培った歴史・文化的ストーリーを伝えられるガイドの育成
- 5-2 金沢の文化を嗜好するターゲットに向けたプロモーションの推進

旅行先としての金沢の認知度

- 5-1 デジタルを活用した効果的なマーケティングの推進

旅行先としての金沢の来訪意向

- 5-4 発信ツールの拡充整備

体制の強化

- 2-5 魅力あるコンテンツを提供できる事業者の育成

- 4-2 観光マネジメント専門人材の育成

- 4-1 金沢DMOの組織強化

- 4-3 観光事業者の連携強化

計画推進の視点

基本戦略を効果的に推進するため、以下の3つの視点に留意して、施策に取り組みます。

視点1 デジタル技術の活用

戦略を効果的に推進するためには、デジタル技術の活用は不可欠です。デジタルマーケティングにより訪れてほしいターゲット層の傾向分析を行い、金沢市観光公式サイト「金沢旅物語」を軸に、世界中の方に金沢の魅力を伝え、何度でも訪れたいと思っていただけるような質の高いプロモーションを図っていくことに加え、ウェブサイト上にワンストップで地域と旅行者をつなぐ仕組みをつくることで旅行者の利便性を向上させ、旅マエから旅アトまでを一体的にフォローして満足度向上につなげます。

また、施策の効果把握のために、ウェブサイトへのアクセス状況や旅行者の金沢滞在動向のデータ等を収集して効果を検証し、施策の改善や新規事業につなげていきます。

視点2 新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた取組の推進

世界中で感染が広がった新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、いつ収束するか見通せない状況です。そのため、戦略を推進するにあたり、各国の収束状況と国の動向などを踏まえ、段階的・弾力的に取組を進めていきます。

入国制限により外国人旅行者の受け入れができない段階をフェーズ1とし、日本国内にお住まいの方を受け入れつつ、外国人旅行者向けにオンライン上でのプロモーションを行う等、収束後に来訪いただくための周知活動を推進していきます。その上で、新型コロナウイルス感染症が収束した国・地域と観光目的での往来ができる状況をフェーズ2とし、入国制限の動きなどを見据えながら、情勢に合わせて取組を行っていきます。

また、今後においても、感染症や自然災害等に対応するため、庁内の各部署や関係団体と連携し観光施策のリスクマネジメント体制を整え、迅速な対応に努めます。

視点3 効果把握とフィードバック

各種戦略を進めるにあたり、取組の効果を継続的に調査・分析し、その結果をもとに事業内容の改善や新規事業の推進等に反映していきます。また、調査結果や事業方針について、市民や事業者へのフィードバックを積極的に行うことで、金沢の観光の現状を市民や事業者伝えていきます。

なお、本計画の推進事業の確認や数値目標の見直し等については、毎年開催する「金沢市持続可能な観光振興推進会議」において検証を行うことで、効果的な施策の推進に努めます。また、行政内部においても「金沢市持続可能な観光振興推進本部」を中心に部署間の連携体制を強化し、横断的に施策に取り組みます。

お問合せ

金沢市経済局観光政策課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL: 076-220-2194 FAX: 076-260-7191



発行: 令和3年3月